

平成 31 年度「スラブ・ユーラシア地域(旧ソ連・東欧)を中心とした総合的研究」に関わる「共同研究班」研究報告書

令和 2 年 4 月 1 日現在

研究課題名	スラブ・ユーラシア地域における「ポストネオリバラル期」の経済政策比較		
担当者	氏名		氏名
	1	仙石 学	スラブ・ユーラシア研究センター・教授
	2	田畑伸一郎	スラブ・ユーラシア研究センター・教授
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	松澤 祐介	西武文理大学サービス 経営学部・教授	チェコ、スロバキアを主とした 中欧諸国の経済政策、金融政策、 金融業の展開
	研究テーマ		
	スラブ・ユーラシア地域の鉄道の変革(SRC 共同研究)		
班員	氏名	所属機関・職	専門とする研究分野
	山脇 大	京都大学経済研究所 研究員	移行経済論 エネルギー・気候変動政策論
	研究テーマ		
	ロシア経済のグリーン成長とガバナンス		

研究成果の概要

班全体としては研究会を 3 回、担当者である仙石の科研費「ポストネオリバラル期における新興民主主義国の経済政策」との合同で実施した。11 月には慶應義塾大学においてエストニアのポピュリスト政党とラテンアメリカにおけるポピュリズムと経済政策の関係に関する報告、12 月には東北大学においてロシアの反体制派のポピュリスト性、中米におけるポピュリズム、および 2019 年のポーランドの議会選挙に関する報告、そして 2020 年 2 月には黒海諸国の労働力移動、金融市場とポピュリズム、韓国の人的資本形成、および 2020 年の台湾の総統選に関する報告がそれぞれ行われ、これらの報告を通してポピュリズムと経済の関連の多面性についてさまざまな角度からの議論が行われた。この成果の一部は、現在センターのスラブ・ユーラシア研究報告集で成果を公開すべく準備を進めている。

共同研究班員の個別の活動は、以下の通りである。

・仙石：2019 年 6 月に比較経済体制学会第 59 回全国大会(一橋大学一橋講堂、2019 年 6 月 22 日)において「ポピュリズム政権の経済政策—ヴィンセグラード諸国の比較から」、および 7 月にセンターの夏季国際シンポジウムにおいて「Populist Governments and Economy: Differences between PiS and FIDESZ」とい研究成果の概

要(続き)

う報告をそれぞれ行い、また旧ソ連・東欧の福祉に関する編著などを刊行した。

・田畑:ロシアの経済政策に関する研究を継続した。仙石と同じく比較経済体制学会において BRICs 経済比較の共通論題でロシアについて報告を行い、それを学会誌で発表した。

・松澤:ユーロ未導入の中欧三か国の金融政策運営、および EU 東方拡大後の交通政策につき EU 指令に基づく中欧での旅客鉄道政策の比較、成果と課題を検討した。また 2020 年 1 月 2 日から 1 月 10 日にかけて、オーストリア国立銀行、ポーランド国立銀行、チェコ国立銀行、ドイツ経済研究所を訪問し資料収集、意見交換を行った。

・山尾:2019 年 7 月 29 日から 8 月 3 日にスラブ・ユーラシア地域研究センターに滞在し、EU・ロシアにおける政治経済・金融市場の動向、および気候変動対策の現状に関する調査活動を行った。

主な発表論文等(雑誌論文、学会発表、図書 等)※謝辞の有無について明記願います。

仙石学編『新版 世界の社会福祉第 5 巻 旧ソ連・東欧』旬報社(2019 年 8 月) 共同研究については謝辞なし(関連する仙石科研について謝辞あり)。

"Populist Governments and Economy: Differences between PiS and FIDESZ" 2019 SRC Summer International Symposium: Global Crisis of Democracy? The Rise and Evolution of Authoritarianism and Populism (Slavic-Eurasian Research Center, Hokkaido University, 5 July 2019) 共同研究については謝辞なし(関連する仙石科研について謝辞あり)。

田畑伸一郎「ロシア経済の強さと弱さ」『比較経済研究』第 57 巻第 1 号、pp.27-39、2020。共同研究については謝辞なし。

田畑伸一郎「ロシア経済に生じた異変:2018 年マクロ実績の分析」『ロシア NIS 調査月報』第 64 巻第 5 号、pp.4-25、2019 共同研究については謝辞なし。

山脇大「気候変動とポピュリズム」スラブ・ユーラシア地域を中心とした総合的研究報告会、北海道大学、2020 年 1 月 25 日 共同研究については謝辞なし。

山脇大「金融市場とポピュリズム」新興国の経済政策比較第 9 回研究会、学習院大学、2020 年 2 月 15 日 共同研究については謝辞なし。

1.「ヴィシエグラード諸国と欧州通貨統合:ポピュリズム政権下の動向を踏まえて」(比較経済体制学会 第 59 回全国大会) 共同研究については謝辞なし。

2.Evaluation of Open Access Operators in Railway Passenger Market in Central Europe. (The 10th East Asian Conference on Slavic Eurasian Studies) 共同研究については謝辞なし。

当該研究活動を基に応募中の研究プロジェクト(科研費等)

このプロジェクトをもとに仙石が応募していた科学研究費補助金 A「政党政治の変動と社会政策の変容の関連:新興民主主義国の比較」(20H00058)が採択されたことで、今後共同研究をより多面的に発展させることとした。また班員の松澤が応募していたセンターの共同利用・共同研究のプロジェクト型共同研究「スラブ・ユーラシア地域の鉄道の変革」が採択されたことで、新たな方向でも共同研究を続けることとした。

※枠を調整することは構いませんが、ページは追加しないでください。